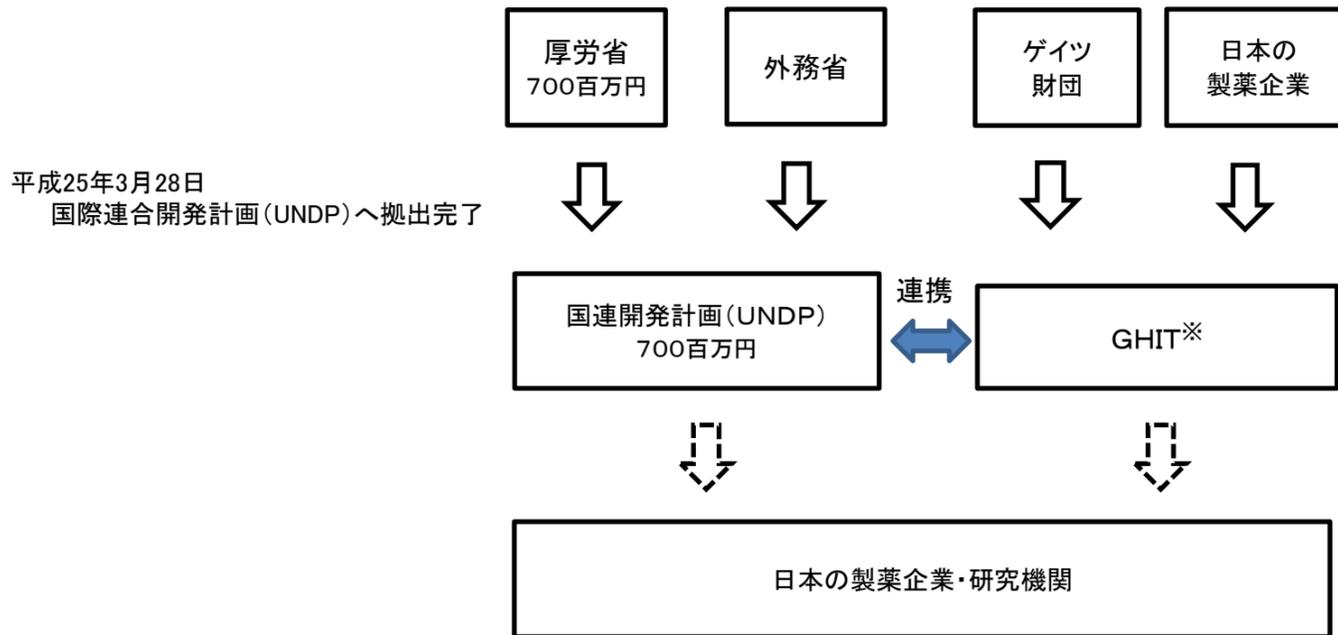


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	開発途上国向け医薬品研究開発支援事業		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	国際課		堀江 裕		
会計区分	一般会計		政策・施策名	施策目標X-1-1 国際機関の活動への参画・協力や海外広報を通じて、国際社会に貢献すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本の製薬産業の優れた研究開発力を活かして、顧みられない熱帯病(NTD)などに対する開発途上国向けの医薬品研究開発と供給支援を、ゲイツ財団も含む官民連携で促進することにより、国際保健分野での貢献を行うとともに、日本の製薬産業の国際展開を下支えすることによって日本の製薬産業の成長・発展を図る。(本事業は外務省と共同で行う。)							
事業概要(5行程度以内。別添可)	顧みられない熱帯病(NTD)や結核、マラリア等の開発途上国を中心に蔓延する疾病の治療薬の研究開発は、先進国において需要が少ない等の理由から充分になされていない。本事業では、厚生労働省は医薬品の研究開発支援(研究助成、共同開発の促進等)、外務省は開発された医薬品の普及支援(ニーズ調査、適合性調査等)をそれぞれ中心的に担当し、国際機関(UNDP)への拠出を通じて、開発途上国向けの医薬品の研究開発等の促進を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/	700	
		補正予算	/	/	700	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	700	/	700	
	執行額	/	/	700	/	/		
	執行率(%)	/	/	100%	/	/		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	非臨床試験及び治験等の実施件数		成果実績	件数	-	-	-	5件
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	選考委員会、理事会、評議会の開催回数		活動実績(当初見込み)	回数	-	-	-	-
					-	-	-	(7回)
単位当たりコスト	①5年間で開発が終了する医薬品1件あたりのコスト: 2億円/件・年。 ②5年間で臨床試験段階まで開発する医薬品1件あたりのコスト: 1億円/件・年		算出根拠	予算額/開発される医薬品の件数(=30億円/3件/5年+5億円/5件/5年)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国連開発計画拠出金	/	700	「新しい日本のための優先課題推進枠」700				
計	0	700						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際機関を通じた国際貢献等であり、国民のニーズがある。開発途上国で蔓延している疾病に対しては商業ベースの医薬品開発は十分になされておらず、政府の支援(国費の投入)が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	拠出された資金はすべて、研究開発支援及びそのために必要な管理コストに充てられている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検 結果	本事業は開発途上国を中心に蔓延する疾病の治療薬の研究開発等を促進することにより、開発途上国における保健衛生の向上を目的とした国際貢献を行うとともに、日本の製薬産業の発展・成長を図るものであり、平成24年度は国連開発計画への拠出を行い、計画通り事業を実施できた。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状 通り	本事業は、開発途上国を中心に蔓延する疾病の治療薬の研究開発等を促進することにより、開発途上国における保健衛生の向上を目的とした国際貢献を行うものであり、事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年 25新-0001

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※GHIT:グローバルヘルス技術振興基金

資金の流れ口資金

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 国際連合開発計画			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際連合開発計画(UNDP)	700			
計		700	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際連合開発計画(UNDP)	グローバルヘルス技術振興基金(GHIT)と連携し、医薬品の研究開発・供給の支援を行う。	700		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					